

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の評価・分析

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
③学校と家庭 の課題	放課後等にお ける多様な体 験活動	「新・放課後子ども総合プラン」 に基づき、児童の安心・安全な 居場所の提供や地域住民によ る学びの提供を目的とした放課 後子供教室と適切な遊びや生 活の場を提供する児童クラブの 連携強化に取り組む必要があ る。	・協働活動サポーターと 児童クラブ職員が連携 し、課題の共有や共通プ ログラムの作成などに取 り組めるよう、定期的な協 議や研修の機会を設け た。 ・児童一人ひとりの状況 に応じた学びのプログラ ムが提供できるよう実施 環境や支援体制などに ついての調整を図った。	・放課後子供教室の教室運営について、 各実行委員会の課題を把握し、必要に応 じて、教室運営の質を維持できるよう支援 を行う。 ・児童クラブと連携していない教室につい て、その理由の確認と、理由に応じた課 題解決を行う。	全ての児童が放課後子供教室 の学びのプログラムに参加でき る環境をつくるため、放課後子供 教室と児童クラブを同一の小学 校内等で実施するなど、両事業 を一体的に推進する。	放課後子供教室と児 童クラブの校内交流 型教室数	17	教室	18	17	・合同研修会の開催などにより、協働活動サポーター・児童クラブ 職員の連携強化のための取り組みを実施したが、両制度の実施場 所等の関係から、教室数については現状維持はできているもの の、増加には至らなかった。引き続き、特に単独実施となっている 教室について、一体的な推進が可能であるかを検討していく。 ・新たな放課後子供教室の開設に向けて行った協議において、児 童クラブとの一体的な推進について協働活動サポーターに説明し、 理解を得て、一体的な推進を行える体制を構築した。